



# 白五小だより

平成29年 3月13日 (月) No. 31  
白河市立白河第五小学校 発行責任者 嶋 忠夫  
TEL 0248-28-2004 / FAX 0248-28-2042  
[http://www.shirakawa.gr.fks.ed.jp/?page\\_id=60](http://www.shirakawa.gr.fks.ed.jp/?page_id=60)

## あの日から6年が経ちました...

3月10日(金)の卒業式全体練習の前に、校長より東日本大震災についてお話をしました。当時のことを思い出すと、本当に胸が締め付けられるようです。しかし、6年たった今、改めてこの震災を振り返り、これから私たちはどうしていかなければならないかを考えていく必要があると思います。子どもたちにも、予測不能な事態に対応していく力をつけていかなければならないと思っています。ぜひ、ご家庭でも話をしてみてください。

以下、校長のお話の概要です。



これは、今から6年前の3月12日の新聞です。前の日の3月11日午後2時46分に大きな地震が起こりました。大きな、大きな揺れが長く続き、白河五小のみなさんは校庭に避難しました。校庭と駐車場がくずれ、この体育館も使えなくなりました。

そしてこれは、3月13日の新聞です。さらに、地震のあとの津波によって原子力発電所の事故が起こり、多くの方が避難をしなくてはならなくなってしまいました。3月14日の新聞には、県民12万人避難と大きく書かれていますね。

この地震で、わたしたちの福島県は大きな被害を受けたのです。

そして、今なお、その苦しみは続いています。

しかし、この地震で得たこともあります。

福島県の人たちを助けるために、多くの方が動きました。警察や消防、自衛隊、お医者さん、看護師さん、そして多くのボランティアの方が全国からさらには外国からも福島県に来て下さいました。困っている人を助けたいというやさしい気持ちが福島県に集まったのです。そのような人のやさしさにふれることができました。



また、この新聞の見出しにはなんて書いてありますか。「負けないで」と書いてあります。みんなで力を合わせ、決してくじけずに、今までの福島県に戻そう、そして今まで以上の福島県にしようみんなががんばっています。一人の力ではどうすることもできないことでもみんなが協力することで大きな力になること、つらいこと、苦しいことがあってもけっしてあきらめないこと、つまり「負けない心」を学ぶことができました。

まだ、福島県には、この地震によってつらい思いをしている人たちがたくさんいます。そのような人たちも笑顔で生活できるようになるようには、皆さん一人一人の力が必要です。3月11日を忘れずに、困っている人を助けたいというやさしい気持ち、つらいことがあってもあきらめずに負けない心、自分はもちろん周りの人たちの命を大切にすることをもち、がんばっていきましょう。

# 6年生と楽しく会食しました！

3月2日（水）から6日間にわたって、6年生と校長の会食を行いました。校長室に6年生が4、5人ずつ来てくれて、一緒に給食をいただきました。小学校での思い出や中学校でがんばりたいこと、部活動のこと、将来の夢などいろいろとお話をしながら、楽しく会食できました。

改めて4月にとった子どもたちの写真と比べてみると、本当に頼もしく、大きく成長したと思います。いよいよ、3月23日は子どもたちの卒業証書授与式です。残りの小学校生活を存分に楽しんでほしいと思っています。



## ちょっといい話

教頭と私で、来年度の教室配置を考えながら机を移動しようとしていると、6年生の　　くん、　　くん、　　くん、　　くんが通りかかり、「ぼくたちが運びますよ」と声をかけてくれました。そして、4人で楽しそうに机を運んでくれました。

とても働き者で優しさにあふれた4人の6年生でした。どんな小さなことでも、人のために役に立つことの大切さを身に付けていること、本当にうれしく思います。中学校でも、ぜひ、自分のよさをどんどん発揮してほしいものです。どうもありがとう！



## 注意!! 車上荒らしに気を付けて!

駐車場における車上荒らしが起きています。くれぐれもエンジンをかけたままでの駐車、無施錠での駐車、見えるところにバッグを置いたままの駐車はしないように、お気を付けください。

